

## 図書館づくりを進める会は「フレンズ」に脱皮して20年 <伊万里市民図書館づくり序章の頃>

寺田 芳朗（寺田大塚小林計画同人）

この7月7日、佐賀県伊万里市民図書館は開館20年。友の会の図書館フレンズいまりは20歳の星祭りを祝う。私は、かつて飲むなと言われ渡された1995年ボーカイユの赤を持ち、森田一雄元館長（91歳）や図書館フレンズ伊万里の友人達との再会に出かけてゆく。これは『味に想う』（来館され懇談した角田房子さん著）の3本のワインのエピソードに掛けた2015年に参集する約束ごとで、図書館づくり伊万里塾（別名森田学校）の20年同窓会というわけである。



さて、伊万里での<住民と図書館づくり>について書くようご指示を頂いたけれど、本誌108号では、会員396人に成長したフレンズの方々が概要報告をされているし、詳しくは、伊万里市民図書館叢書第三集の『序章 私たちの図書館は。もつためでなく あるために』に、これまでとこれからについて易しく深く楽しく記されている。菅原峻先生も絶賛でしたから、お近くの図書館の相互貸借でご覧頂ければうれしい。

それで私は、この図書館づくりの物語の裏方大道具係であったので、藪にらみだが、お話をいくつか思い出して記してみたい。

○設計者選びプロポーザル。  
発問は、受験者が図書館そのものをどこまで理解しているかを試していた。その質問は行政自身の課題ではないかと氣力減退の私に、苅田町立図書館の増田浩次館長が電話で親しく背中を押してくれた。

「伊万里は知名度高い街だから頑張れ。苅田町図書館に頂いた便りを読んだらしい。」  
1991年12月号。伊万里開館の4年前の情景。この文に勇気を頂いて、審査委員ではなくこの人達に向けて提案を書いてみようと思ったのだった。

○第1回の顔合わせ。図書館づくりを市長から信託されていた森田館長は、「市政全般の文化化と協働」という提言原稿を私に渡し意見を求めた。二次試験だと思った。のちに『美しい生活者として』という冊子になり、始まる図書館づくりでの市民との向き合い方も示していた。伊万里物語りのこの伏線も、確かめて頂けるとうれしい。この「自治と都市計画理念」は私の領分でもあった。学習型市民参加、図書館づくり伊万里塾は半分を学校図書館連携をねらって進められ、十分な設計情報を開示した。元新聞編集委員の森田館長は司書に聞く。図書館が支える個人の学びは、その先に何があるの？ E. フロムをてこにして、図書館を市民の生き方から考える。図書館員や参画する市民や、図書館を判ったつもりの私を鍛えてくれた。森田一雄館長は市民と向き合った。そしてあの図書館設置条例第一条が書かれる。この道筋が後の大塚館長古瀬館長や、図書館員につながっている。

○設計が終わり議会承認の後に、市長選挙となった。「分不相応な図書館箱物建設を止める」が争点の役所内の騒乱。大新聞の地方版も建設批判側で応援した。結果は、過半数の市民が反図書館候補に投票した。工事発注は足踏み、変更検討。新首長の公約方針の風に関係部局は追随して図書館は日影の身になってしまった。市民を信じた進める会も理不尽な逆風に巻き込まれた。まだ薄ら寒い玉屋デパート屋上ガーデン、数人で話し合った情景をいまも忘れない。

「本来、図書館は梁山泊。行政施策に対しカウンタープランを作る人を応援するんだ」などと遠吠えをしたものだ。図書館側の市民も多様な地縁人脈を求めて動いた。徐々に、小さな変更で事業は動いてゆく。

そのとき少数市民がともに耐えて働いた。という訳で、いま文科省のHPで、官民協働の成功事例として伊万里物語を読んだり、伊万里は特別でいいですねなどと他所で言われると、違和感を飲み込むこともある。

この日影の時代を経験して、進める会は「いつでも変わりうる役所」との向き合いで考える。穏やかに自律した。市民側も文化化が必要だ。ぜんざい会もボランティアも仲間づくりも一味違った。「佐賀の女性は人を働くのがうまいですね」と、竣工で感想文を書いた真意だ。さて、この「自律と構え」だが、拡大し世代交代するフレンズにリレーできるものであろうか。○さて大道具係は、開館で始まる市民協働の為に見える旗印を考えていた。（説明が難しい）フレンズショップに変化する砦を玄関に置いた。そして磁器製の竣工銘板。参画した市民の名前を焼付けで列記した。祝20年。楽しくおだやかな追い風だけではなかった図書館づくりの序章を思い出す。伊万里市民図書館いやさか。これからも、「図書館と市民。そなえよ、つなに。」

### 記

基本設計から実施設計完了に至る平成5年1月～12月の期間、市民各界の代表である図書館建設懇話会・行政・設計者協働で設計内容の検討が進められた。また、この官民協働のかたちを伊万里学の実践にため併行して、図書館づくり伊万里塾（学校図書を考える伊万里塾）が一般市民に公開のかたちで1年間開催された。竣工にあたり「市民とともにそだつ 市民の図書館」のはじまりとして銘記する。

#### 基本計画 伊万里市図書館建設委員会 図書館計画施設研究所

図書館読書友の会：藤田高生・古賀旭子・力武富士子・堤義子・田中正義／婦人連絡協議会：小島久子  
図書館づくりをすめる会：岡田政嗣・加藤優子・盛素子・一ノ瀬芳信・中村悠美子／文化連盟：篠永政夫  
伊万里市郷土研究会：田中時次郎・山口房一・井本孝郎／身体障害者福祉協会：古賀誠六  
母と子の読書会：赤司耕子・浦川文江・山田京子・川田涼子・種智子・渡部さよめ／消費者グループ協議会：野田京子  
伊万里こども劇場：下平良美／青年代表：久保田敏則／青年会議所：今井定也・小川秀樹／婦人代表：川田美保子

市老人クラブ連合会：古賀一ノ口ロブミスト：山口千鶴子・笠原照代・太田照代／れんげの会：松永士郎  
地区元区長：原宗次郎／社会教育委員代表：福田博雄／小中連合PTA代表：西曉治／園長会：山口長  
市内高等学校校長会：江藤正人／小中学校校長会：田中静二・小島一郎・伊万里情報センター：吉畠常彦・内野晉

#### 市民ボランティア

伊万里こどもの会：末次鶴子・点詠津恵の会：きつつき：児島享子・森田出子・松野さよみ／  
てんどうむしの家：前山ノゾ・岩崎静子・東島邦子・鶴田キヨエ・高木美須子 方達との話し合い

#### 図書館協議会

中島公江・田内法子・水上広子・金岡恭子・高田保彦・前山博・小池和栄・伊木真夫（以上平成5年度委員）